



地球温暖化防止

横浜からの取組み

地球温暖化は、モルジブ・フィジーなど島嶼国家の海没、熱波、寒波、旱魃、洪水、台風、モンスーンなどの気候変動、生態系の変動とともに食糧の6割を輸入に頼る日本の食生活を破壊する、危機的な課題となっています。

横浜市は、2025年までに一人当たりのCO2発生量を30%削減する地球温暖化防止計画CO-DO30を発表し、脱温暖化条例の検討も始めました。温暖化がもたらす気候生態系の変動と緑の果たす役割、都市交通・物流のあり方、食の確保と安全、地域経済のあり方など、横浜から地球温暖化防止への実効性ある取組みを考えていきましょう。

5月17日(土)13:30～16:30 いせやま会館204

プログラム

《 報告・パネルディスカッション 》

1 鈴木力英(地球環境フロンティアセンター)

- 地球温暖化による気候生態系の変動 -

2 横浜市地球温暖化防止対策本部

- 地球温暖化対策CO-DO30について -

3 安田八十五(関東学院大教授)

- 温暖化防止・横浜緑のネットワーク -

4 遠藤伴雄(農民組合神奈川県本部事務局長)

- 食糧危機、食の安全と地産地消

5 横浜の公共交通活性化をめざす会

- 地球と人に優しい公共交通への転換 -

《 意見交換 》

- 会場からの発言 -

(桜木町紅葉坂、伊勢山皇太神宮向い)



資料代 300円

主催 ヨコハマ市民環境会議

共催 横浜市民自治研「環境・まちづくり」分科会

共催 横浜の緑を考える市民ネットワーク(準備会)

「連絡先」 ヨコハマ市民環境会議事務局長

鈴木久夫 横浜市南区六ッ川2-113-9

TEL/FAX 045-714-6301 E-mail qhisao@ytv.home.ne.jp